

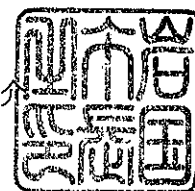


平19都市第220号

平成19年4月25日

国土交通省道路局長 殿

岩国市長 井原 勝 介



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

貴職におかれましては、常日頃から当市への道路事業を推進していただき、誠にありがとうございます。おかげをもちまして、供用開始された国道は当市の発展、活性化に大変寄与しているところでございます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号でご依頼のありました標記につきまして、別紙のとおり回答いたしますので宜しくお願いします。

中期的な計画の作成にあたっての意見

重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

地域間の交流と連携、生活の利便性向上や経済活動を活発化するためには、地域内外を結ぶ主要幹線道路網を整備促進することが必要不可欠です。中国地方は自動車への依存度が高いものの道路整備水準は低く、中でも幹線道路網の整備が他の都市と比べ著しく遅れている当市においては早急なる整備が最重要事項の1つであると認識しています。加えて、近年、地震、台風により幹線道路が長期にわたり通行止めになり、市民生活に重大な影響を与える事態が立て続けに生じていることから、災害、重大事故に強い道路網の整備が肝要と思料します。

効率化を進める上で重視すべきことについて

道路の事業実施が決定されてから、供用開始後その効果が発現するまでの期間を短縮することが大事だと思います。早い段階から市民の考えや意見が十分に反映されるような取り組みや、事業遂行のスケジュール管理を徹底することによりそれは可能と考えます。

岩国地域における国道の現状と意見

国道2号

1 岩国市中心部から大竹市間

・現 状

この区間は慢性的な交通渋滞が生じていますが、「岩国・大竹道路」を建設促進して頂いているので将来に向けて交通渋滞の解消や緊急輸送道路としての見通しはついています。

しかし、「岩国・大竹道路」の供用開始予定年次について、平成15年度に国が実施した市民への説明会では平成20年代半ばとされていましたが、最近では平成30年頃と修正がなされました。

・意 見

岩国市民は「岩国・大竹道路」の1日でも早い開通を渴望しています。発表された供用開始予定年度が大幅に遅れることにより、市民の機運の盛り下がり、失望感、とりわけ周辺関係住民の事業への理解度の低下が見受けられ事業進捗にも影響しかねません。

事業のスピードアップを図るなどスケジュール管理の徹底と市民への事業進捗の説明等が必要と思料します。

2 岩国市中心部から周南市間

・現 状

この区間は主要幹線道路が国道2号（2車線）しかなく、異常気象時通行規制区間（連続雨量250mm規制 1.9km）が指定されています。平成16年の台風16号、平成17年の台風14号で河川に並行した道路が数十メートルにわたり陥没し、全面通行止めとなりました。

同時期に国道２号のバイパス的な役割をしている県道岩国玖珂線（通称「欽明路道路」）も崩落し、さらに、山陽自動車道の大規模な崩落により周南市から大竹市までの幹線道路は完全に分断されました。

・意見

この区間の国道２号は地形的な制約（急峻な山の麓に国道２号があり、前面が錦川）から現道の拡幅改良は不可能であるため、緊急時や災害時の緊急輸送道路として市内中心部から玖珂町に向けての国道２号バイパスの建設が急務であります。

国道188号

1 岩国市中心部から岩国南バイパスの終点（藤生町）

・現状

この区間は慢性的な交通渋滞が生じていますが、「岩国南バイパス」を建設促進して頂いており、来年３月には暫定２車線で供用開始を予定していることから、交通渋滞の解消や緊急輸送道路としての見通しはついていきます。

・意見

「岩国南バイパス」は岩国市の背骨となる重要な幹線道路。供用開始すると市内の交通体系は劇的に変わります。予定通り来年３月の供用開始を望みます。

2 岩国南バイパスの終点（藤生町）から柳井市方面

・現状

この区間の主要幹線道路は国道１８８号（２車線）しかないため、慢性的な交通渋滞が生じています。さらに特殊通行規制区間（波浪による路面冠水規制 １４km）が指定されています。芸予地震被害（工業用水管破裂）や台風被害（越波）で長期間の交通止めとなりました。

・意見

この区間の国道１８８号は地形的な制約（急峻な山の麓に JR と国道１８８号があり、前面は瀬戸内海）と道路沿いには家屋や商店が連担していることから現道の拡幅改良は不可能であるため、緊急時や災害時の緊急輸送道路として「岩国南バイパス」の柳井方面に向けた延伸となるバイパスの建設が急務であります。

まとめ

岩国地域の主要幹線道路は、市内中心部を東西に横断する国道２号（２車線）と沿岸部の国道１８８号（２車線）しかなく、都市およびその周辺においては慢性的な交通渋滞が生じています。さらに異常気象時通行規制区間（連続雨量２５０mm規制 １．９km）や特殊通行規制区間（波浪による路面冠水規制 １４km）が指定されていて、芸予地震被害や相次ぐ台風被害で長期間の通行止めになり、周南市から大竹市までの幹線道路は完全に分断される等、日常生活の利便性や活発な産業

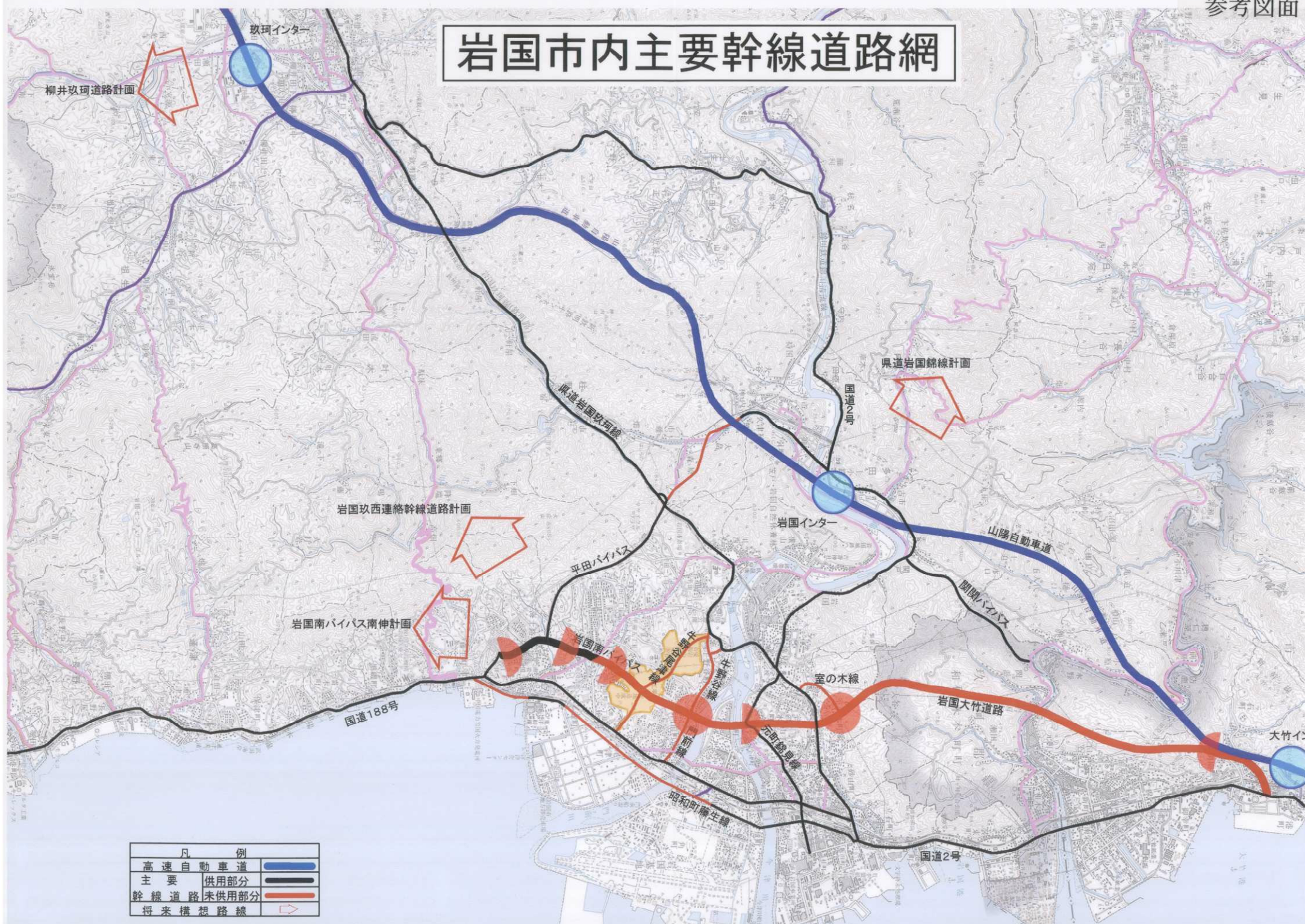
活動に支障をきたしています。

このような状況の中、国におかれては「岩国・大竹道路」や「岩国南バイパス」の事業を着実に進めて頂き、市内中心部から大竹市までの間は交通渋滞の緩和や災害時の緊急輸送道路として将来に向けての見通しはついていきます。

しかしながら、岩国地域は自動車交通の依存度が高い割に、未だに幹線道路の整備水準は低く、最近の頻繁な地震発生や台風時の局地的な豪雨等を考えますと、国道2号の市内中心部から周南市方面と国道188号の柳井市方面において現道拡幅が不可能なことから、緊急時や災害時の緊急輸送道路として安心・安全な生活が確保できるバイパスの建設が急務であります。

つきましては、平成19年中に作成される、「道路整備中期計画の真に必要な道路整備」の中に現在 施行されている「岩国・大竹道路」、「岩国南バイパス」は元より、岩国地域の将来的な国道バイパスの整備事業として「岩国玖西連絡幹線道路計画」及び「岩国南バイパス南伸計画」を盛り込んでいただきますようよろしくお願いします。

岩国市内主要幹線道路網



凡例	
高速自動車道	
主要供用部分	
幹線道路未供用部分	
将来構想路線	